



開山無相大師の行状図絵

大本山妙心寺開山無相大師 六五〇年遠諱参拝のご案内

既報の通り平成二十一年は大本山妙心寺開山無相大師六五〇年遠諱に当たります。室町時代に花園法皇の外護のもと妙心寺を開いた無相大師（関山慧玄禅師）は枯淡にして峻厳な家風で修行者を鍛え、その法燈は今日まで連綿として伝えられております。

また妙心寺は現在も境内に七堂伽藍を完備、数々の塔頭寺院を有し、洛西最大の禅寺として雄大な寺観を維持しています。開山様の遠諱は五十年に一度です。檀信徒の方々におかれましては是非この機会に法縁を深められますことを期待いたします。

また今回の遠諱記念事業として東京国立博物館をはじめとする四会場場で妙心寺展が開催されます。妙心寺に秘蔵される宝物が一堂に会すまたとない機会です。こちらも見学ツアーを企画いたしましたので是非ご参加頂きます様お願い申し上げます。

（8ページをご覧ください）

※ただ今、当山ホームページで妙心寺開山無相大師絵本がご覧頂けます。

お盆の法要のご案内



七如来名号
(精霊札)

本年のお盆行事は先の通りです。日時をご確認の上ご参拝頂ければ幸甚と存じます。八月八日より十二日まで お墓掃除の日

・きれいなお墓でお盆を迎えましょう！

八月十二日 午後六時 施餓鬼法要(精霊迎え法要)

・餓鬼の苦しみを救ってくださる七如来名号を開眼し、お盆の幕開けとします。法要後に七如来名号(精霊札)を授与します。お布施は十三日以降に納めて下さい。

八月十三日 終日 七如来名号(精霊札)授与

・七如来名号(精霊札)を授与します。喪中の家以外は赤の熨斗袋に布施と書いて納めて頂ければ結構かと存じます。

八月十四日 午前十時 新亡供養

・新亡の方には改めてご案内いたします。

八月十五日 午前十一時三〇分 平和祈願戦没者供養法要

・寺内の法要ですが、ご自由に参拝して頂いて結構です。

八月十六日 午後六時 孟蘭盆会総供養(精霊送り法要)

・お盆の各自宅にお持ち頂いた七如来名号の総供養です。

・お返し頂いた方すべての家名を住職が唱え供養します。

・七如来名号は必ず十六日午後六時までに返却して下さい。十六日に返納が出来ない方は、後日で構いませんので寺に納めて下さい。

孟蘭盆会供養塔婆 一体七〇〇円 八月一日より受け付けます

孟蘭盆供養 施主

ご自分の墓地はもちろん、他家の墓地にお参りした際の供養のしるしになります。

地藏流し法要 九月十二日午前十時

海にお地藏様の札を流し、先祖の供養をするものです。新盆の方は是非参加して下さい。

ハワイ開教院 山口和尚退山



昭和六十二年より長年に渡りハワイ・マウイ島臨濟禪ミッションの住職を勤められた山口良三和尚が去る六月十四日同寺住持を退かれ、閑栖となりました。これに際し大本山妙心寺より前任職の法階が授与されました。

法要には瑞巖寺吉田道彦老師、本山より総務部長松井宗益師、花園会本部長一色宏襄師も臨席し、花園地方大会と併修されました。

前号に引き続きインド巡拝記です。

◎ヴァイシャリー

ヴァイシャリーは、八大佛蹟の中では猿がお釈迦様に蜜を献じた場所として紹介されます。あるときお釈迦様が数人の修行者と共に托鉢の為の鉢を並べて休息していると、猿達が多く鉢の中からお釈迦様の鉢だけを選んで、蜜を献じたというのです。この出来事は、私達日本人から見るとお釈迦様の数多くの布教活動の中では大して重視するべきものではないと感じるのですが、何故かインドではこの手の話は好まれるらしく、お釈迦様と動物が関わった逸話は他にもいくつか残されています。現在のヴァ

イシャリーは、往時のままに聳え立つアショーカ石柱の周辺が公園化され、非常に美しい場所になっています。二五〇〇年前には商業都市として栄え、世界初の共和制国家であったヴァイシャリーですが、現在は都市部から遠いこともあり、穏かな空気に包まれています。公園化されたといっても、さして観光客が多いわけでもなく、しつこい物売りに悩まされずにゆつくりと参拝が出来るところです。

私がヴァイシャリーの逸話として、私がいちばん重要であると感じるのは、大般涅槃經に説かれる最後の安居の話です。安居というのは元来、雨期の定住のことです。お釈迦様の時代の修行僧は「三界に家なし、樹下に宿を重ねず」という生活を送っていました。ところが雨期の間は斯様な生活はとて出来ません。インド日本寺で駐在僧をしていた法兄故和久北龍師の話では、「乾期には水の流れさえも絶え絶えになるネイランジャラー河の水が増水して、同河から一キロ近くは離れていると思われる日本寺の境内まで水浸しになる。」とのことですから、野外で寝るといふ通常の修行というものは物理的に不可能になるのです。お釈迦様は知人を頼って三ヶ月の安居に入りなさいと弟子たちに指示しています。お釈迦様の晩年の言葉として知られる「法

灯明 自灯明」（教えを灯明としなさい。自らを灯明しなさい。）という言葉も、原文は「灯明」ではなく「島」だったことが知られます。これは雨期に所々に出来る盛り上がった土地（即ち島）を渡り歩くように教えや自分自身を頼りとしなさいという意味です。灯明という宗教性を含んだ言葉よりも、雨期における島という表現は、非常に日常性にとんだ言葉でお釈迦様の言い回しが社会生活から乖離していないことに興味を感じます。

余談が長くなりましたが、このヴァイシャリーで迎えた人生最後の雨安居でお釈迦様の体を病魔が襲います。しかしお釈迦様は強靱な精神力でその苦痛を耐え忍んだといわれています。病が一段落した様子に安心した侍者アーナンダが、



ヴァイシャリーのアショーカ石柱

お釈迦様にその喜びを伝えた際にお釈迦様が述べられたお言葉が前述の「法灯明自灯明」という言葉です。そしてお釈迦様は自らの余命が三月程であることをアーナンダに告げるのです。アーナンダは多聞第一と称される方でしたが、このときは未だ阿羅漢果（佛の直弟子が至ること



リッチャビィの人々が建立した塔の遺跡

の出来る最高の境涯)に達していませんでした。ですから大般涅槃經の世界ではアーナンダ尊者が我々迷える衆生の代表としてお釈迦様の最後の教えに浴すのです。雨安居を終えさらに北へと旅するお釈迦様はこの地を去るとき「ヴァイシャリーは美しいな」と仰います。お釈迦様が風物を賛美するのは珍しいことです。またヴァイシャリーという土地には賛美されるような特段の絶景があるわけではありません。これは死を覚悟したお釈迦様の眼に二度と見ることはないヴァイシャリーの光景が特段の風情を伴って感じられたからに違いありません。このヴァイシャリーにはもう一つ興味深い逸話が残っています。お釈迦様のヴァイ

シャリー滞在中はアンババーリーという遊女が所有するマンガ園で休息することが多かったようですが、彼女は遊女といってもかなり経済力があった方だと思われ、お釈迦様の教えを聞いた後にこのマンガ園を教団に寄付したようです。アンババーリーがお釈迦様に食事を施与したいと申し出、これが了承された後、地元の貴族であるリッチャビィの青年達が同じ日時に、お釈迦様に食事を供養し、教えを伺いたいと申出て来ました。しかしお釈迦様は最初にアンババーリーと約束したことを理由にこれを退けます。貴族である青年達は遊女との約束を優先するお釈迦様に不平を言いますが、お釈迦様は断固として先約を重んじたようです。リッチャビィの青年貴族達はお釈迦様一行がヴァイシャリーを去る際、お釈迦様を護衛し、しばし同行して旅をします。お釈迦様は別れを惜しむ貴族達に、日用していた鉢を授け、大河を神通力により現し、これを越え貴族達と別れます。貴族達はこの鉢を納める塔を建てお釈迦様を偲んだといひます。今回はこのリッチャビィの貴族達が建立した塔に参拝してきました。現在は写真の通り小高い山のようになっていますが、仏像や装飾品は殆ど破損していますが、現在残る部分だけを見てもかなり巨大で装飾に富んだ素晴らしい塔であったことが想像できます。

ヴァイシャリーは仏滅一一〇年後(もしくは一〇〇年後)に第二回目の仏典結集が

行われた場所でもありません。七〇〇名の比丘を集めて行われた会議は主に戒律の解釈についてのものでした。お釈迦様の滅後、社会の変革や広大なインドにおける地域の特徴に対応するために教団運営、特に戒律のあり方に対し、深刻な対立が生まれまされたのです。保守派はお釈迦様の定めた戒律を遵守すべきだと主張し、進歩派は布施の授受に関し貨幣の受け取りを認めるべきであるなど、社会の変化に伴い戒律も変革すべきであると主張します。ここに教団が保守派と進歩派との二派に分れ、これを根本分裂と呼びます。以上は東南アジア伝承の「教団分裂の説」ですが、大乗仏教には独自の「教団分裂の説」があります。会報では紹介しにくい説ですので、興味のある方は直接私まで……。

◎舎衛城と祇園精舎

祇園といえは「祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり……」という平家物語の一節が思い出されます。人によっては京都の歓楽街を思い浮かべる方も多いでしょう。八坂神社から先斗町にいたるまでの地区は、我々がイメージする最も京都らしい風景が展開されるところです。しかし祇園という言葉には、斯様な華やかな意味はありません。祇園はお釈迦様が最も長く滞在された寺院である祇樹給孤獨園を略したもので、これは祇陀王子の所有した林に給孤長者が寺を建立して、お釈迦様に寄進したものであると信じられます。



お釈迦様が居られた所（祇園精舎）

お釈迦様はこの祇園精舎のあるコーサラ国舎衛城とお釈迦様最初の外護者であるピンビサーラ王が治めるマガタの都、王舎城を毎年往来しています。コーサラとマガタは当時の有力な国家であると同時に友好国であり、王族同士の婚姻もあつたようである。商人の往来も盛んでした。舎衛城の富豪であるスタッタ長者は慈悲深い方で知られ、孤独な人々に施しをするという意味で人々は彼を「給孤独長者」と呼んでいました。これは孤独な人に施しを行うという意味です。王舎城に住む友人を縁としてお釈迦様に帰依した長者は、なんとか舎衛城にも寺を寄進したいと考えました。しかし、寺を建立するには土地が必要です。寺の建立には静かな場所が適していますが、かといって町から離れすぎているのでは托鉢や参拝に不便です。このような条件に見合う土地

が舎衛城に一箇所だけありました。それはジェータ太子が所有する林でした。ところがジェータ太子もこの場所をとっても気に入っており、手放す気はまったくありません。しかし慈悲深いスタッタ長者があまり熱心に頼むものですから、たわむれに「この土地表面を満たすだけの金と引き換えに、この土地を譲ってやろう。」と言ってしまったのです。ところがスタッタ長者はこれ聞いて大喜び！早速金を運ばせ、地面に敷き詰めます。それを見ていたジェータ太子はその熱意に心を動かされ、土地と林をお釈迦様に寄進したのです。

因みに京都の祇園八坂神社は、明治の廃仏毀釈以前までは祇園社感神院という寺で牛頭天王を祀っていました。この祇園社が祇園という地名の由来となっています。

舎衛城は王舎城のピンビサーラ王と並ぶお釈迦様の外護者であつたパーセナデイ王が統治した都ですが、このパーセナデイ王、初めは仏法に信じておりませんでした。後の薦めによってお釈迦様に帰依したことが伝えられます。パーセナデイ王はお釈迦様と生年月日が同じで、悪意にしていたらしく、面白い逸話では、お釈迦様が今でいうメタボリックシンドローム気味の王に対し、ダイエットを薦めたというものがあります。

お釈迦様にとってもよき友人であつたパーセナデイ王ですが、ピンビサーラ王と同様に気の毒な最期を遂げています。ピドゥ

ーダバという王子に王位を奪われ、娘の嫁ぎ先であるアジャンタサットウに助けを求めに王舎城に向かったものの王舎城の城門前で客死してしまうのです。仏典ではパーセナデイ王やピンビサーラ王だけではなく、仏教の帰依者が非業の死を迎えたことを伝えている場合が少なくありません。お釈迦様の死後一〇〇一二〇〇年後に即位しインド全土を統一したアショーカ王も、晩年は病身で姦臣が勝手に行政をし、不自由な境遇にありました。「わしの今の持ち物は、この手のひらにある形のくずれた果実だけとなった。私はこの最後の所有物である果実を僧団に寄進しようと思う。」アショーカ王の最後の寄進である果実を、当時の教団長老はこれを煮て羹とし種を収蔵してストーバを建立したといわれています。さて、お釈迦様



祇園精舎



アングリマーラの遺跡

といつても険しい溪谷が車の行く手を阻むわけではありません。とにかく他の聖地から遠いのです。昨年十二月の巡拝ではラクナウという町から十時間のドライブ。さらにサンカーシャ参拝後、

や仏教の帰依者であった諸王の非業の死を何故仏典は詳細に伝えているのでしょうか？ いまどきの新興宗教ならば、帰依者の不幸などは隠してしまうに違いありません。これはお釈迦様の生涯を伝える経典が、一貫して諸行無常をテーマとしていること。またそれぞれ王位に就くためには、それぞれ戦火を起こしているわけですから、この悪業に対する因果応報を教示しているのではないのでしょうか。

◎サンカーシャ

八大佛蹟とはお釈迦様と法縁深い八つの聖地のことで、アショーク王以来これを巡拝することは大きな功德を巡拝者にもたらすと信じられてきました。この八大聖地の中でサンカーシャは最大の難所といえるところ

七、八時間のドライブで宿泊地アグラまで移動しました。まさに巡礼！まさに苦行！それでも、サンカーシャにはアショーク石柱がきれいに保存されており、やはり一見の価値はある場所です。

サンカーシャとはお釈迦様が実母マヤー夫人の為に三十三天に昇り三ヶ月過ぎた後、再び地上に下りた場所であると信じられています。の為に説法することのほかに、弟子達がお釈迦様を頼みとするあまり、自分自身を見つめ苦しみや問題を自己解決しようとしないうちに、お釈迦様が警鐘を鳴らしたものであるとされています。この出来事は多くの経典がお釈迦様の成道の七年後としていいますので、お釈迦様四十二歳の頃の事件なのでしょう。事件という大げさかもしれませんが、弟子達にとってはまさに事件でした。何しろお釈迦様は誰にも告げず天界に昇ったものですから、上記の通りすべてお釈迦様に頼りきりの弟子達は大慌てです。神通力に長けた目連さんが三界の何れを透視しても、どこの世界にもお釈迦様を見つけないことが出来ません。実はお釈迦様も神通力でその身を隠していたのです。三十三天に昇り三月に渡り実母と過したお釈迦様は神通力を解き、自らが天にいるこ



サンカーシャのアショーク石柱

とを目連さんに伝えました。そしてサンカーシャに降臨することを告げたのです。弟子達や信者は先を争ってわれ先にとサンカーシャへ急ぎます。おかげで当地は大変な混雑です。ここでお釈迦様の弟子の中で最も美しい尼僧だったと伝えられる蓮華色尼が一計をめぐらし、転輪聖王に身を変じし、諸々の弟子に先んじてお釈迦様に礼拝します。これと対照的な行動をとった弟子に須菩提がいます。彼はお釈迦様の降臨を聞いたとき、霊鷲山で繕い物をしていたのですが、お釈迦様を礼拝しに行くよりも、此処で静かに坐禅をしていた方が、お釈迦様の意になうだろうと洞窟中で打坐していました。後に、お釈迦様が須菩提を称えたことはいうまでもありません。須菩提は解空第一（空を理解したことについては弟子中第一の意味）と称され、金剛經の主役ともなっていますが、禪宗で大切にされる金剛經中の「若し色を以て我を見、音声（こゝろ）を以て我を求めらば、この人は邪道を行す。如来を見ること能わず。」という有名な一説は、前述のサンカーシャの逸話に取材したという説もあります。

というわけで次号まで続くかも…です。

幼稚園だより

塩釜中央幼稚園 ☆ 塩釜第二中央幼稚園



園児募集10月1日より
願書受付11月1日



入園式（中央）



入園式（第二）



水泳教室（第二）



遠足（中央）



お茶のお稽古（第二）



参観日（中央）



たのしいおもいで
いっぱい



坐禅（中央）



体育教室（第二）



造形教室（第二）



キッズクラブ（第二）



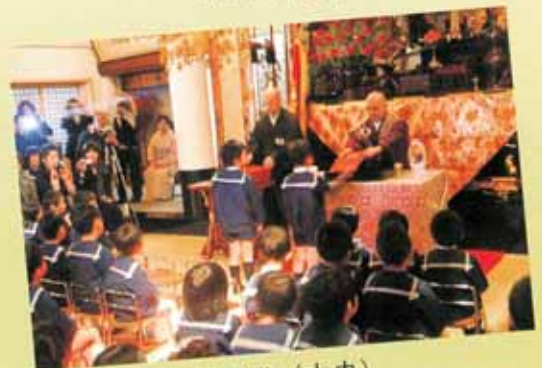
お別れ会（中央）



書道（中央）



卒園式（第二）



卒園式（中央）

寺庫紹介

臨濟禪師画賛

雲居希膺(五八一〜二六五九)着賛

雲居禪師は、土佐の人。伊予上三谷の毘沙門堂にて生を享ける。瑞巖寺中興開山。政宗公菩提の為に陽徳院(愛媛)、天麟院(五郎八姫)に念仏を勧め、往生要歌を記す。勅賜号慈光不昧、大悲円満国師と諡される。

作品は宗祖臨濟禪師の頂相に雲居禪師が賛を着けたもの。紙本で巾二十八cm×縦九十八cm。臨濟慧照禪師は唐代の禪僧。諱は義玄。豪放明快なる説法で後に臨濟宗宗祖と仰がれる。賛も、その凄まじい一喝は天まで徹し、鉄拳の勢いは黄泉にまで届くと、その峻厳な家風を讀んでいる。

(賛) 熱喝声徹碧天 颯拳勢透黄泉
 是何等漢 臨濟義玄

拙孫希膺(花押) 拜賛

本年は瑞巖寺中興開山雲居希膺禪師の三百五十年遠諱。ただ今、瑞巖寺宝物館では「雲居和尚展」(九月二十八日迄)が開催されています。今回紹介した臨濟禪師画賛他、當山所蔵の雲居禪師墨蹟八点が出陳されています。機会がありましたら是非ご参拝下さい。



予告 大本山妙心寺開山無相大師 650 年遠諱団参

旅程 平成21年10月5日～10月7日
 参加費 100,000円(不足分は東園寺花園会より助成)
 定員 40名

月日	日	程	宿泊	朝食	昼食	夕食
10月5日(日)	東園寺集合～仙台空港～伊丹空港	午後2時遠諱法要 妙心寺塔頭拝観	市内ホテル		○花園	○
10月6日(月)	京都市内寺院観光		市内ホテル	○	自由	○
10月7日(火)	観光(未定)			○	○	各自

来年秋の行事ですので大まかな旅程です。申し込み用紙はお盆期間中より寺務所付で配布致します。
 ※一部の方に遠諱の団参は春と申し上げて参りましたが、諸般の寺事情により上記の通り変更させて頂きます。

東京国立博物館「妙心寺展」見学&玄侑宗久師講演拝聴ツアー

旅程 平成21年2月6日～2月7日 1泊2日
 参加費 40,000円(不足分は東園寺花園会より助成)
 定員 30名

月日	日	程	宿泊	朝食	昼食	夕食
2月6日(金)	本塩釜駅集合～仙台～上野～浅草ビューホテルにて講演拝聴		浅草ビューホテル			○
2月7日(土)	浅草寺参拝(各自)午前～妙心寺展見学 昼食後 都内観光 夕刻の新幹線にて帰途			○	○	各自

東京国立博物館での妙心寺展見学と玄侑宗久師の記念講演に参加するツアーです。こちらの申し込み用紙もお盆期間中より寺務所で配布致します。

東園寺ホームページ
<http://www.toenji.com>

毎月10日前後に更新しています。大本山妙心寺開山無相大師絵本がご覧頂けます。東園寺中興開山曹源祖水禪師の行状記が読める他、所蔵墨蹟の紹介(寺庫紹介)、住職の法話のページ(ほら貝)など気軽な内容です是非ご覧ください。

宗教法人 東園寺	〒985-0026	塩釜市旭町4-1	022(362)0777	寺務所
学校法人 東園寺学園	〒985-0012	塩釜市芦畔町13-51	022(362)8651	中央幼稚園
			022(365)5616	第二中央幼稚園
代表役員 千坂成也	理事長 千坂秀也	花園会・会長 阿部久壽	022(364)4444	FAX